

選択基礎医学実習のご紹介

生体調節研究所

代謝エピジェネティクス分野

<http://epigenetics.imcr.gunma-u.ac.jp>

実習テーマ

環境を体質として記憶するエピゲノムの分子機構と編集技術

テーマ 1

CRISPR技術をもちいたヒストン修飾編集への挑戦

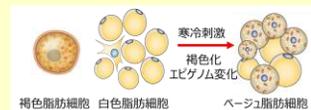
テーマ 2

エピゲノム酵素の補酵素の測定技術の確立

2016年10月に始まった新しい研究室です。

「環境」がどのように細胞の中に記憶され、「太りやすい」とか「病気になりやすい」といった「体質」を決めているのかについて、その分子機構を研究しています。

食生活や生活習慣は、細胞に記憶されているのか？
「ため込みやすい脂肪」と「燃やしやすい脂肪」を決めているのは？
細胞の中に記憶された過去は、消し去れないのか？



達成要件

- ☑ 研究室の一員として、情報収集、実験、発表にとりくんでいただきます。
- ☑ 関連英文論文を一報以上読み、紹介する。
- ☑ 研究室ミーティングで、一度以上の発表をする。

当研究室では、以上の項目を達成できるようなサポートを行い、分子生物学的研究への理解を深めていただきます。

お願い

- ※ 研究室のコアタイムは平日午前9時から午後5時です。
- ※ 土日休日は必須ではありませんが、モチベーションに応じて参加可能です。

指導教員

教授 稲垣 毅 inagaki@gunma-u.ac.jp
准教授 柴田 宏 hshibata@gunma-u.ac.jp
そのほか、研究室スタッフが実務的にサポートいたします。

